

# 群馬県行財政改革大綱原案の概要

## 策定の趣旨

職員一人ひとりの「個」の力を高めるとともに、「民間」の力も含めた県全体の「総合力」を発揮することにより、行政サービスの利便性や維持向上を図るとともに、持続的で発展的な行財政運営を行う。

目指す姿  
職員一人ひとりが始動人となり、攻めの群馬県政を実現する

## 位置付け

知事戦略および総務分野の最上位計画

## 推進期間

5年間（2025年度～2029年度）

## 大綱の体系

- 「群馬県行財政改革大綱」と別に定める「群馬県行財政改革大綱実施計画」で構成
- 大綱は今後の行財政運営の方向性を示し、実施計画は大綱で示した方向性の具体的取組を位置付ける

## 職員の取組姿勢

### 始動人マインド

「始動人」の意識で  
職務遂行

### DX

デジタル技術を活用した  
行政の変革

### ワイズスペンディング

費用対効果の高い  
先進的な政策の立案

### EBPM

データに基づく  
事業改善や政策立案

# 群馬県行財政改革大綱原案の概要

質の高い行政サービスを持続的に提供するため、4つの目標と17の方針を掲げ取組を推進

## 目標1 DX等による質の高い行政サービス提供

- ▶ 行政サービス利用者の利便性向上に向けたデジタル化等の取組を推進する

- 方針1 DXによる県民の利便性向上
- 方針2 市町村DX推進の支援
- 方針3 戦略的なメディアプロモーション体制の整備と推進
- 方針4 地方分権改革の推進

## 目標3 県民の期待に応え、未来を切り拓く 職員の育成と組織風土改革

- ▶ 職員一人ひとりの能力を最大限に引き出し、群馬県庁の総合力を伸ばす

- 方針8 風通しがよく、挑戦できる組織風土の醸成
- 方針9 業務の見直し・効率化及び人員の確保
- 方針10 職員が自律的にキャリア形成できる仕組みづくり
- 方針11 職員が能力を発揮できる環境の整備
- 方針12 ガバナンスとコンプライアンス強化

## 目標2 官民共創による持続可能な公共づくり

- ▶ 群馬県が企業・県民等の様々な主体と共創し、新たなサービスや価値の創出、持続可能な公共づくりに取り組む

- 方針5 官民共創による課題解決力の強化
- 方針6 民間による公共サービス提供の促進
- 方針7 官民による公共データ活用の促進

## 目標4 政策の着実な推進を支え、リスクにも柔軟に対応できる財政基盤の構築

- ▶ 必要な政策を着実に進めるために、中長期的な歳入歳出の見通しを踏まえ、将来にわたり安定した財政運営を行う

- 方針13 財政の透明性向上
- 方針14 財政規律の強化
- 方針15 歳入確保と民間資金の活用
- 方針16 公共施設等の有効活用と適正管理
- 方針17 公営企業の経営基盤強化